

牛久市平和使節団

中学生が広島を訪問

7月27日から29日の3日間、牛久市平和使節団が広島へ派遣されました。市内の中学2年生計25人が広島市を訪れ、原爆ドームや平和記念資料館の見学をしたり、被爆体験者の講話を聴いたりしました。事前研修では、市内の戦争体験者の方々から、当時の生活の様子についてお話を伺うなど、意欲的に研修に取り組みました。今後は、研修の成果を報告書にまとめ、各中学校での「校内平和の集い」や牛久市民文化祭でのパネル展示等で発表する予定です。



常磐線利用促進街頭キャンペーン

常磐線を利用しよう

7月22日、牛久市は茨城県と合同で、牛久駅とひたち野うしく駅で常磐線利用促進街頭キャンペーンを行いました。

昨年3月、ついに常磐線が東京駅に乗り入れとなりましたが、乗り入れの認知度アップと同線の利用を促進することで、通勤時間帯の東京、品川駅への乗り入れとさらなる利便性の向上を目指すものです。

キャンペーンでは、駅を利用する皆さんに、啓発品を配布し、常磐線のさらなる利用の促進を呼びかけました。



平成28年度中学生模擬議会

中学生が一般質問

将来牛久市を担っていく中学生に、地方自治の仕組みや市における政策決定の過程などを理解してもらうとともに、中学生の意見を市政に活かしていくため、8月18日、「平成28年度中学生模擬議会」を開催し、市内5中学校から2人ずつ、計10人の中学生が参加しました。

後半議長を務めた牛久第一中学校3年の藤井<sup>あや</sup>絢さんは、「一般質問は新聞を参考にしながら考えました」と話していました。※一般質問や答弁の詳細は「広報うしく10月1日号」でご紹介します。



牛久第二中学校吹奏楽部とOBがサマーコンサート

吹奏楽は最高！私たちの演奏を届けます！

8月20日、エスカードホールにおいて「牛久二中withおくのウインドベルズ1stサマーコンサート2016～おくのがいちばん暑い夏♪」が開催されました。

牛久第二中学校の吹奏楽部の部員数は現在11人。コンクール経験やフル編成での吹奏楽を経験したことのない生徒たちにその経験をさせたいと同吹奏楽部のOBたちで結成した「おくのウインドベルズ」が声を掛けたのが、今回のコンサート開催のきっかけ。

吹奏楽部部長で3年生宮田<sup>みやたあかね</sup>明音さんは「設備が整ったホールで演奏するのは初めて。最高に楽しかった」と話していました。おくのウインドベルズ代表の佐藤<sup>さとうゆきお</sup>幸夫さんも「後輩たちとの演奏はとても思い入れの強いものとなった。演奏中の子どもたちの表情はとても輝いていた。開催してよかった」と熱い思いを語りました。



## ようこそ、牛久市へ。



1



2



3

- 1 派遣団は市役所を訪問。根本市長と対面しました
- 2 浴衣を着て日本文化に触れました
- 3 味噌作りを体験。作った後は試食し、日本の味も体験しました

姉妹都市カナダのホワイトホース市から12名の派遣団が7月16日から25日の10日間、牛久市内の家庭でホームステイをしました。

浴衣を着て河童ばやしを踊ったり、牛久高等学校での書道体験や、さらには味噌作りにも挑戦したりと様々な日本文化に触れました。茶道での足のしびれも奇怪なセミの抜け殻に触るのも初体験。牛久大仏やシャトーカミヤなどの市内名所や、浅草やディズニーシーも訪れました。

滞在中16歳の誕生日を迎えた団員に浅草で見つけた刀型の傘をプレゼントするなど、団員たちの絆が深まった一面も。納豆を食べた武勇伝(?)が自慢の団長のティムさんは「団員にとって日本の高校生との交流は貴重で、異文化理解へのきっかけになった。来年牛久市からの派遣団をお迎えするのが楽しみです」と語りました。

### 下根中生 ボランティア活動

## まちをきれいに

7月16日、下根中学校の生徒がPTA地区ボランティア活動で学区内の清掃活動を行いました。

暑さの中、生徒たちは自分の住んでいる地区を担当し、清掃をしました。

活動を終え、3年生の山田千晴<sup>やまだちはる</sup>さんと亀山遙妃<sup>かめやまはるき</sup>さんは「通学のときなどに気になっていたゴミや草を清掃することができた。きれいになってよかった」と話していました。



### 稲敷地区6市町村放射能対策協議会

## 東京電力に原発事故損害賠償請求2,532万円 ～牛久市分は1,040万円～

8月5日、稲敷地区6市町村放射能対策協議会(会長・根本洋治牛久市長)は東京電力ホールディングス(株)に対して、平成27年度分の放射能対策経費として、6市町村合計で2,532万円を損害賠償請求しました。このうち牛久市分は1,040万円です。

当日は、6市町村の首長を代表して根本市長が、東京電力ホールディングス(株)茨城補償相談センターの中川順二所長に請求書を手渡した後、各首長とともに

に、これまでに請求を行った放射能対策経費のうち、未払いとなっている人件費をはじめとする経費の早急な支払いを求めました。



6市町村を代表して、根本市長が東京電力に原発事故損害賠償2,532万円の請求書を渡しました



牛久市シルバーリハビリ体操指導士会

健康寿命をのばそう

牛久市シルバーリハビリ体操指導士会10周年記念の集いが、7月13日中央生涯学習センターで行われました。シルバーリハビリ体操は、介護予防体操として座った姿勢や寝た状態で手軽にできる体操です。

当日は、考案者の大田仁史氏おおたひとしによる講演会や体操の実践、体操教室参加者の発表が行われました。ユーモアを交えた内容に会場は終始笑いに包まれていました。



脳卒中事例検討会

脳卒中は適切な判断と治療が大事

7月20日、稲敷広域消防本部は、牛久愛和総合病院の協力で「脳卒中事例検討会」を行いました。

救急隊が脳外科ホットラインを使用した救急事例を発表し、脳外科石黒医師から脳卒中急性期の治療について講義をいただきました。消防本部、病院関係者70人が参加し、脳卒中は速やかに治療を受けることが死亡率や障害軽度化につながり、救急隊の適切な判断と医療機関までの時間を限りなく短くすることが大事であることを再確認しました。

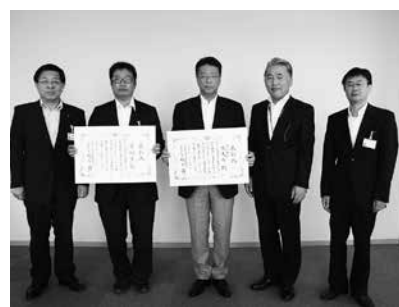


茨城県交通安全対策協議会から表彰

交通死亡事故連続ゼロ500日達成！

牛久市では、平成27年3月18日以降、交通死亡事故連続ゼロ500日を達成し、8月17日に茨城県交通対策協議会から表彰されました。今回の記録は、市民の皆さんをはじめ、多くの方々の心がけによって、達成することができました。

今後もこの記録が一日でも長く続くよう、交通事故防止のための活動に取り組んで参ります。これからも「事故防止の心がけ」をお願いします。



寄付

温かい善意  
ありがとうございます

●日本ボーイスカウト牛久  
第1団・第2団・第4団が寄付

日本ボーイスカウト牛久第1団・第2団・第4団が、8月12日に市役所を訪問し、日本赤十字社牛久地区に4万3,300円を寄付してくださいました。これは第35回うしくかっぱ祭りで行った募金活動で集まったもので、熊本地震の被災者支援に使われます。



小学校区タウンミーティング開催

市民の意見を市政に

市民と直接対話し、協働のまちづくりを推進しようと、市役所で小学校区毎のタウンミーティングを開催しました。

5月23日から6月29日にかけて合計8回開かれたタウンミーティングでは、根本市長や市の執行部のほかに、小学校区毎の区長や行政区役員合計144人が出席し、市政全体の計画や各行政区の課題などについての意見交換を行いました。平成28年度予算の概略や「牛

久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」などについての説明と話し合いの後、各行政区の代表が順に意見や要望について根本市長とやりとりを行いました。道路、空き家、学校など幅広い分野の現状や課題について、これまでの取り組みへの評価や今後の改善への期待などを語り合いました。



## 子どもたちへの教育で復興を後押し

昨年4月にネパールで発生した大地震に対して、市民の皆さんの善意により集まった義援金約434万円は、その一部が遠隔地にある2村落の緊急支援物資の購入及び配布に充てられました。残りの義援金は、震災で半壊したシュリ・ジャナカルヤン高校の校舎改築に充てられました。

同校舎落成式への招待状が市長宛に届き、市民部次長高谷寿が市長代理として参加し、支援にご協力いただいた市内在住ネパール人のカトリ・チャム・バハドウル氏に同行いただきました。

同校は山道を数km登ったところに位置し、5歳から16歳までの生徒225人が通います。牛久市からの義援金は校舎建設費の約8割にあたります。改築された校

舎は1階建ての鉄筋コンクリート造で4つの教室及び職員室として利用されます。震災前はレンガ造りでしたが、改築された校舎は耐震性が大幅に増した構造となりました。これは生徒への安心感を与えるだけでなく、周辺住民にとっても自然災害時の避難場所として活用することができます。

落成式は200人超の住民・生徒が参加する中、伝統的なしきたりに即して行われました。

現地の方からは、「国からの支援も受けられず、途方に暮れていたが、牛久市民の善意により高校の生徒が快適に学べる校舎が完成した」と喜ぶ声をいくつもいただきました。



1



2



3

1 新校舎 2 高校の生徒たち  
3 落成式でのスピーチ(左:チャム氏、右:高谷市民部次長)

## 第35回うしくかっぱ祭り

### 今年も盛大に開催、牛久の夏の風物詩



1



2

1・2 河童ばやし踊りパレードコンテストで優勝した牛久第三中学校(写真1)と上池台行政区(写真2)

「第35回うしくかっぱ祭り」が7月30日・31日の2日間、牛久市役所や近隣公園、花水木通りを会場に開催され、のべ約24万人が来場しました。

2日にわたって行われた「河童ばやし踊りパレード」では、約1万2,000人が参加。牛久第三中学校、上池台行政区が昨年引き続き、優勝を飾りました。

## ●河童ばやし踊りパレードコンテスト入賞団体

成績	7月30日【各事業所・団体】 7月31日【各行政区】
優勝	牛久第三中学校 上池台
準優勝	向台小学校 新地
第3位	牛久南中学校 東みどり野
審査員特別賞	(株)関電工 人材育成センター
特別賞	団結賞 若俊連 刈谷、田宮
	触れ合い賞 牛久市民生委員児童委員協議会 宮城県色麻町 東岡見、むつみ
	ハッスル賞 牛久第二中学校 緑ヶ丘、神谷
	ハッピー賞 常陸太田市 女化西、みどり野
	はりきり賞 民踊・2005 神谷二区



笑顔の写メール大募集!

あなたの撮った写メが「広報うしく」の表紙になります!

「広報うしく」では皆さんの「笑顔の写メール」を大募集。新年を飾る平成29年1月1日号の表紙を皆さんの「笑顔」の写真でいっぱい埋め尽くします。

皆さんお持ちの携帯電話のカメラ機能を使って、笑顔の写メールを下記までご応募ください。ご投稿いただいた写メールは、できる限り全員、「広報うしく」に掲載します。皆さんのご応募お待ちしております!

作品例



募集案内

◎応募締切日 10月15日(土)

◎応募条件 被写体の方が市内在住の方

◎掲載予定人数 約300人

◎応募作品(テーマ)「笑顔」

◎ファイルサイズ 特に制限はありませんが、メール添付で送れるサイズ以内。

◎応募方法

①撮影した携帯電話の写真をメールに添付し、件名を「笑顔の写メ」とし、投稿者の住所、氏名、年齢、電話番号、被写体の氏名、住所を記入の上、右記アドレスまでお送りください。



②携帯電話、パソコンをお持ちでない方は、写真例のように写真を撮り、プリントし、裏に投稿者の住所、氏名、年齢、電話番号、被写体の氏名、住所を記入の上、郵送または直接提出してください。

◎注意事項

①被写体(保護者)の了承を得た上で応募してください。

②写真は縦で撮影してください。

③1枚につき、被写体は1人で撮影してください。

④作品例のようにアップで撮影してください。

⑤画像加工(特殊効果や文字の挿入)

した写真は掲載できません。

⑥1人何点でも応募できますが、掲載は被写体1人につき1枚とします。

⑦掲載に不適切と思われる写真については、掲載しない場合があります。

⑧掲載する写真と一緒に名前を公表することはありません。

⑨大きいサイズで掲載する写真は市民活動課で審査し、選考します。

⑩応募者多数の場合は、掲載写真を抽選で決定しますのでご了承ください。

◎応募・問い合わせ

〒300-1292牛久市中央3-15-1

市民活動課 ☎内線1632

Email : [shimin@city.ushiku.ibaraki.jp](mailto:shimin@city.ushiku.ibaraki.jp)

1176号

2016年9月1日発行

発行・編集 牛久市市民活動課 〒300-1292 茨城県牛久市中央3丁目15番地1

TEL 029-873-2111 FAX 029-873-2512 HP http://www.city.ushiku.lg.jp/

今月のたいへんよくできました 牛久保育園のお友だち



さくらぐみ



◀出来上がった句は食べ物や身近な出来事を取り入れた、楽しいものになりました

先生に小林一茶の絵本を読んでもらった牛久保育園のさくらぐみのお友だち。読んでもらった後、子どもたちは小林一茶になったつもりで思い思いの句を考えました。

そして、その句を書いたかるたを作成し、運動会ではそのかるたを披露。さくらぐみのお友だち14人で「14人一首」を行いました。先生が句を詠み、みんなでかるた取りをしました。自分の句が詠まれると大喜びする子どもたち。みんなは小さな詩人になりました。